



婦人科からのご案内

平素より大変お世話になっております。

和泉市立病院・産婦人科におきましては、2009年4月より従来の周産期医療および一般婦人科診療から悪性腫瘍に重点をおく診療へ転換し、2009年より分娩の取り扱いを中止させていただいております。一方で悪性腫瘍におきましては、地域の先生方からのご紹介もあり、毎年50～60例程度の新規婦人科悪性腫瘍患者の治療を行っております。この場を借りて御礼申し上げます。2012年には婦人科腫瘍専門医の修練施設としての認定もいただき、若手育成にも積極的に取り組んでおります。

初期診療における手術加療は、当然ながら手術不可能な症例や再発症例につきましては、腫瘍内科や放射線治療専門医のご協力のもと化学療法や放射線治療を併用し、「あきらめない医療」を掲げ、積極的に治療を行っています。一方で、早期から疼痛や精神的フォローを、緩和チームにもご協力をいただきながら行っております。結果としてQOLを維持しつつ治療の継続ができています。腹水貯留など婦人科疾患を疑うような場合につきましては、地域医療連携室までご連絡いただければ早急に対応させていただきます。また、転院の依頼などは原則として当日に対応できるようにしております。

子宮筋腫や卵巣腫瘍といった良性腫瘍に関しては、手術加療だけでなくホルモン治療のような保存的加療も行っております。手術の際は、腹腔鏡手術や子宮鏡下手術を積極的に導入し、低侵襲手術を心がけ診療を行っております。

子宮脱に代表される骨盤臓器脱につきましても、ペッサリーによる保存的加療だけでなく、重度の脱出がある患者に対しては手術加療(膣式手術)を行っております。メッシュによる吊り上げ手術も取り入れ、症状に合わせて幅広く治療を提供できるよう心掛けております。羞恥心もあり、なかなか受診にならない患者も多数おられます。外陰部の違和感や下垂感、またそれに伴う排尿困難などの症状があれば、是非ご紹介いただければ、その患者に合った治療方法をご提案させていただきます。

更年期における不定愁訴につきましては、ホルモン補充療法や漢方薬などを併用し、各症状に合わせた処方をご心がけております。

まだまだ地域のご要望には十分お応え出来ていない部分があるとは思いますが、今後もお一層の努力を積み重ねてまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



婦人科

医長 中野 雄介

病院の理念



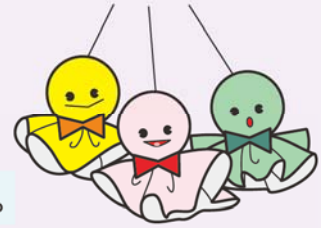
1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

【眼科】外来診察日のご案内

診察時間 木曜日 13:30～16:30 (受付 8:00～16:00)

紹介状をお持ち下されば予約なしでも診察いたします。

※金曜日は再診予約のみですので、ご紹介はお受けしていません。



★新任医師の紹介★

皮膚科



ひら ちか
平 田 央

はじめまして。皮膚科に着任しました平田 央（ちか）と申します。平成12年に大阪市立大学を卒業し、大阪市立大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センターで研鑽を積んでまいりました。薬剤、食物アレルギーの診断・治療を行ってきた経験を生かして、アトピー性皮膚炎などの皮膚アレルギー疾患に力を入れていきたいと考えております。また、4月から二人常勤となったので、薬疹などの皮膚科救急疾患などの入院加療も行っていきます。和泉市の皮膚科医療に少しでも役立てるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

皮膚科



みや かりな
宮 本 花里奈

初めまして。4月より勤務することになりました、皮膚科の宮本と申します。

今まで和泉市に訪れたことがないので、毎日新鮮な気持ちで過ごしています。

大学時代はサッカー部のマネージャーとダンスをしており、基本的に体を動かす事が好きです。また、クラシック同好会にも所属していて、オーケストラの生演奏を鑑賞するのも楽しみのひとつです。

学生のころから皮膚科に興味があり、今は日常の診療から学ばせていただく事も多く、毎日充実しています。

まだまだ未熟ではありますが、何卒宜しくお願い致します。

◆ちょっと一言欄（何かお気づきの点があれば、FAXにて送信ください。）◆